

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

兼松株式会社（証券コード:8020）

【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的
債券格付	BBB+
発行登録債予備格付	BBB+
国内CP格付	J-2

■格付事由

- 電子・デバイス部門、食料部門、鉄鋼・素材・プラント部門、車両・航空部門を有する商社。事業内容は幅広く、携帯電話販売や官公庁向けの航空機ビジネスなど特定の分野において事業基盤を構築している。子会社には兼松エレクトロニクス（ICTソリューション事業）や兼松コミュニケーションズ（モバイル事業）などの有力企業がある。
- ICTソリューションやモバイルなど各部門において強みのある事業を多く有している。様々な事業を展開することで収益力は比較的安定しており、近年、営業利益や親会社の所有者に帰属する当期利益（最終利益）は底堅く推移している。M&A などさらなる事業基盤の強化にも積極的に取り組んでおり、その成果も徐々に現れている。当面、安定した収益基盤に変化はなく、現状の利益水準は維持されると JCR では見ている。財務面では、ネット DER など良好な水準にある。リスクは十分にコントロールされており、資産の健全性も維持されている。以上により、格付は据え置き、見通しは安定的とした。
- 19/3 期の営業利益は 300 億円（前期比 14.7%増）、最終利益 165 億円（同 1.1%増）が計画されている。増益の要因としては、電子・デバイス部門での ICT ソリューション事業の堅調な推移や食料部門での国内飼料価格の回復などが挙げられる。中期ビジョン「future 135」では、事業投資による規模拡大を目指しており、最終年度（24/3 期）の最終利益は 250 億円を目標としている。リスクをコントロールしながら事業投資を継続していけるのか、今後の進捗に注目したい。
- 財務面ではネット DER（18 年 9 月末）が 0.5 倍であるなど、比較的健全な内容が維持されている。収益拡大のため積極的な事業投資・M&A を推進していく方針ではあるものの、知見・経験がある得意分野を対象にするなど投資姿勢は保守的であり、財務上大きな負担が生じる可能性は低いと JCR では判断している。近年、非経常的な損失は十分にコントロールされた水準に止まっており、今後も多額の損失が発生するリスクは少ない。

（担当）千種 裕之・本西 明久

■格付対象

発行体：兼松株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2016年3月10日	2019年3月8日	0.40%	BBB+
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2016年3月10日	2021年3月10日	0.64%	BBB+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2017年12月14日	2022年12月14日	0.420%	BBB+
第4回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2017年12月14日	2024年12月13日	0.570%	BBB+

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	300億円	2017年3月25日から2年間	BBB+

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	200億円	J-2

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2018年11月28日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之
主任格付アナリスト：千種 裕之
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 兼松株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であっても、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル